

平成29年度 第1回総合教育会議

平成29年11月21日（火）

午後3時30分 開会

第二庁舎8階801会議室

議事日程	議	題
第1		開会
第2	議題第1号	教育委員会事業に係る平成29年度の進捗状況について
第3	議題第2号	放課後子ども総合プランについて
第4	議題第3号	その他
第5		閉会

【資料】

資料1	学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（概要）
資料2	小金井市立学校教員勤務実態調査（平成29年9月）

学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（概要）

平成27年4月
文部科学省

- 平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」においては、各インフラ管理者が個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として個別施設毎の長寿命化計画を策定することとされた。
- 学校施設の長寿命化計画を策定する際の基本的な考え方や留意事項、計画に盛り込むべき事項等を示すとともに、押さえておくべきポイントや具体的な考え方等を解説した手引を作成。

※ 学校施設の長寿命化計画策定に係る手引作成検討会（主査：上野淳 首都大学東京理事・名誉教授（当時））において検討

1. 学校施設の現状

- ・ 築25年以上で改修を要する施設が約7割 ⇒安全上、機能上の問題点
- ・ 今後見込まれる膨大な老朽施設の更新需要
- ・ 国・地方ともに厳しい財政状況
- ・ 児童生徒数の減少

2. 長寿命化計画策定の目的

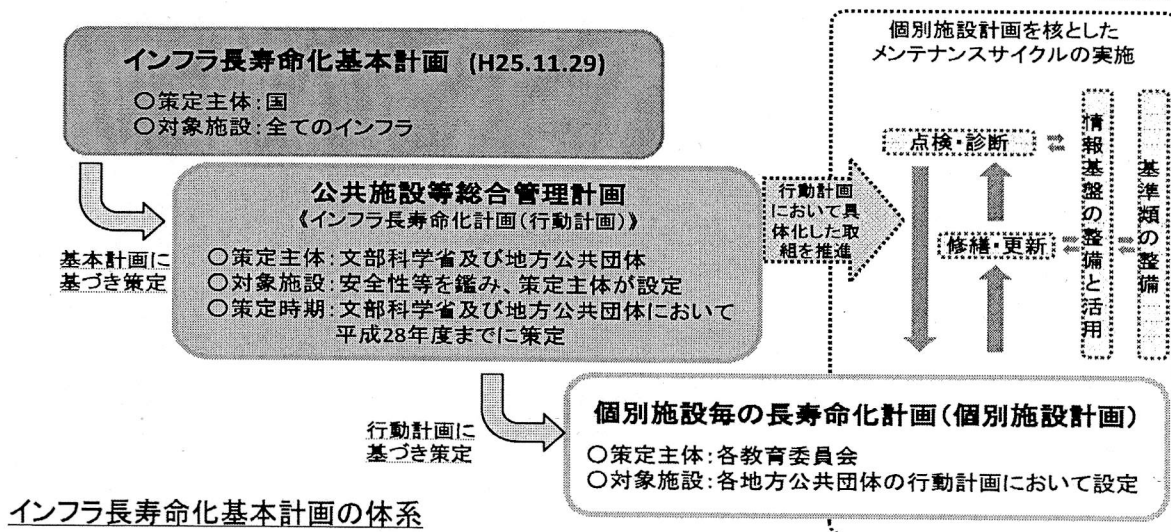
- ・ よりよい教育環境の確保
- ・ 効率的・効果的な老朽施設の再生によるトータルコストの縮減・予算の平準化
- ・ 今後の方針の共有による学校関係者・地域住民の理解の促進

長寿命化計画に盛り込むべき項目

- ・ 学校施設の長寿命化計画の背景・目的
- ・ 学校施設の目指すべき姿
- ・ 学校施設の実態
- ・ 学校施設整備の基本的な方針
- ・ 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準
- ・ 長寿命化の実施計画
- ・ 長寿命化計画の継続的運用方針

各項目に沿って、以下のような情報を掲載

- ◆ポイント
学校施設の長寿命化計画に、最低限盛り込むべき項目と押さえておくべきポイント
- ◆解説
ポイントとして記載した内容の具体的な考え方や検討方法、項目設定上考慮すべき点
- ◆事例
計画策定の上で参考となる既存の計画等



インフラ長寿命化基本計画の体系

学校施設の長寿命化計画の構成について

目標設定

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

- ・学校施設の長寿命化計画の策定に当たっての背景や目的を記載する。
- ・施設の現状と今後の施設整備の基本的な方針，日常的な維持管理の方針等を考慮の上，計画期間を設定する。

(2) 学校施設を目指すべき姿

- ・国や地方公共団体の教育振興基本計画や学習指導要領のほか，各地方公共団体の教育ビジョン等に掲げられた施策を基本として，それらを実現するために学校施設としてどのような機能・性能が必要となるかを検討し，目指すべき姿を示す。

実態把握

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

- ・地方公共団体の人口や財政の状況，他の公共施設の状況等の学校施設を取り巻く状況のほか，学校施設の保有量や将来の更新コスト，保有教室の活用状況，学校施設毎のコスト状況等について現状と課題を整理する。

② 学校施設の老朽化状況の実態

- ・改修方法等の検討に必要な劣化状況等の実態として，構造躯体の健全性の評価を行うとともに，構造躯体以外の劣化状況等の評価項目を地域の実情に応じて決定した上で評価を行い，現状と課題を整理する。

方針の設定

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

- ・学校施設の実態や目指すべき姿等を踏まえ，今後の学校施設の規模や配置計画に関する方針について記載する。
- ・計画策定時点で個々の施設に係る方針が立てられない場合，今後の当該方針の策定に向けた検討時期を記載することが重要である。

② 改修等の基本的な方針

- ・学校施設の実態を踏まえつつ，目指すべき姿を実現していくための改修等の基本的な方針として，長寿命化や予防保全の方針，目標使用年数，改修周期等を示す。

(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

- ・把握した現状の整備水準等を踏まえ，域内の学校施設に関する統一的な方針として，今後の改修等による整備水準を設定する。

② 維持管理の項目・手法等

- ・各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため，点検・評価の項目を整理する。また，点検・評価の項目毎に調査や修繕の方法，周期等を設定する。

長寿命化計画の策定・運用

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

- ・今後の学校施設の改修等に関する優先順位付けの考え方を示した上で，今後の改修等の内容や時期，費用等を整理し，年次計画を策定する。
- ・計画策定時点において，個々の施設に係る規模・配置計画等の方針が立っていない場合には，今後の検討を踏まえ，改訂のタイミングで計画に反映する。

② 長寿命化のコストの見通し，長寿命化の効果

- ・計画に従って長寿命化を行った時のコストの見通しを明らかにする。
- ・改築中心の場合とのコストの比較・評価を行い，長寿命化の効果を明らかにする。

(7) 長寿命化計画の継続的運用

① 情報基盤の整備と活用

- ・把握した現状データの蓄積方法を記載する。

② 推進体制等の整備

- ・学校施設の長寿命化計画を継続的に運用していくために必要な組織体制等の充実方策について記載する。

③ フォローアップ

- ・学校施設の長寿命化計画の進捗状況等について，適切な期間内にフォローアップを実施し，必要に応じて計画を更新する旨を記載する。

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(概要)

平成29年3月 文部科学省

平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」において平成32年頃までに個別施設毎の長寿命化計画の策定が求められたことを踏まえ、平成27年4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を作成。

この手引に基づき、学校施設の長寿命化計画の標準的な様式を示すとともに、より具体的に留意点等を解説した解説書を作成。

1. 解説書作成の目的

学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)を策定する際に生じる課題を解決するため、専門的知識のない地方公共団体職員の参考となる解説書を作成することで、全国の地方公共団体の計画策定の促進を図る。

2. 解説書の内容

(1) 計画策定のための建物情報の整理

⇒学校施設の全体把握、老朽化状況の把握、今後の維持・更新コストの把握(従来の改築型、長寿命化型)、直近の整備計画の策定

(2) 学校施設の長寿命化計画の様式と事例

⇒手引で示された盛り込むべき項目毎に、様式及び記載事例を掲載

(3) 先進的な事例

⇒コスト縮減のための先進事例を掲載(例:他の公共施設との複合化、施設の共用化等)

(4) 事例紹介

⇒既に地方公共団体で策定済の学校施設の長寿命化計画を紹介

3. 解説書のポイント

(1) 本解説書付属のソフトを活用して対象建物の基本情報を整理することで、今後の維持・更新コストの試算が可能(40年分のグラフが自動出力される)

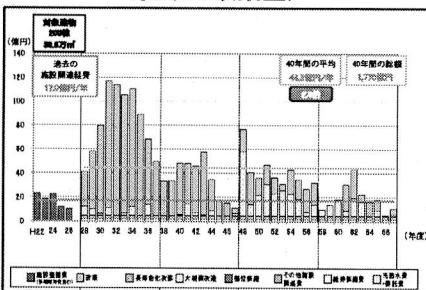
(2) 自動出力されたグラフ等を用い、本解説書で示した標準的な様式に記載することで学校施設の長寿命化計画の策定が可能

【イメージ】

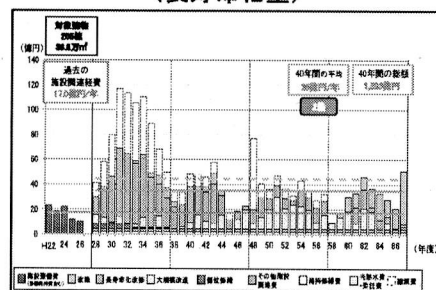
学校施設の建物状況を把握し、建物情報一覧表を作成

建物基本情報										
施設番号	施設名	種別	用途	所在地	構造	築年	延床面積(㎡)	延床単価(円/㎡)	延床総額(円)	
001	1381 A小学校	小学校	普通	東京都	RC	2	2,932	1983	5,814	47
002	1381 A小学校	中学校	普通	東京都	RC	2	1,525	1983	3,025	47
003	1381 A小学校	小学校	普通	東京都	RC	4	1,730	2002	3,463	14
004	1381 A小学校	中学校	普通	東京都	RC	4	1,400	2002	2,800	14
005	1382 B小学校	小学校	普通	東京都	RC	2	1,819	1984	3,615	22
006	1382 B小学校	中学校	普通	東京都	RC	2	1,744	1979	3,488	28
007	1387 C小学校	小学校	普通	東京都	RC	2	1,111	1980	2,222	28
008	1382 B小学校	中学校	普通	東京都	RC	2	894	1972	1,788	24
009	1383 D小学校	小学校	普通	東京都	RC	2	2,810	1979	5,620	28
010	1383 D小学校	中学校	普通	東京都	RC	2	1,792	1972	3,584	24
011	1383 D小学校	小学校	普通	東京都	RC	2	792	1972	1,584	22

(従来の改築型)



(長寿命化型)



今後の維持・更新コストを自動的に試算し、グラフ出力可能

第3章 学校施設の長寿命化計画の様式と事例

第3章においては、学校施設の長寿命化計画を策定するための「様式」と、各様式について先行して計画を策定している地方公共団体等における「事例」を示す。これから学校施設の長寿命化計画を策定する地方公共団体においては、事例を参考にしつつ、地域や学校の実情を踏まえて様式1～様式7を作成することで、標準的な学校施設の長寿命化計画を策定することができる。なお、一部の様式では、第2章で整理したデータやグラフを活用する。

本解説書で示す様式については、あくまで標準的な地方公共団体を想定した例示であり、実態に沿わない場合は、適宜変更の上、活用してもらいたい。

: 事例を参考にしながら作成

: 「第2章 計画策定のための建物情報の整理」で作成した出力データを活用

様式	「学校施設の長寿命化計画」章立て	本解説書 におけるページ
様式1-1	(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等 ① 背景 ② 目的	p.44-45
様式1-2	③ 計画期間 ④ 対象施設	p.46-47
様式2	(2) 学校施設の目指すべき姿	p.48-49
様式3-1	(3) 学校施設の実態 ① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態 1) 対象施設一覧	p.50-51
様式3-2	2) 児童生徒数及び学級数の変化	p.52-53
様式3-3	3) 学校施設の配置状況	p.54-55
様式3-4	4) 施設関連経費の推移	p.56-57
様式3-5	5) 学校施設の保有量 6) 今後の維持・更新コスト(従来型)	p.58-59
様式3-6	② 学校施設の老朽化状況の実態 1) 構造躯体の健全性の評価及び 構造躯体以外の劣化状況等の評価	p.60-61
様式3-7	2) 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)	p.62-63
様式4-1	(4) 学校施設整備の基本的な方針等 ① 学校施設の規模・配置計画等の方針 1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	p.64-65
様式4-2	2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	p.66-67
様式4-3	② 改修等の基本的な方針 1) 長寿命化の方針 2) 目標使用年数、改修周期の設定	p.68-69
様式5	(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等 ① 改修等の整備水準 ② 維持管理の項目・手法等	p.70-71
様式6-1	(6) 長寿命化の実施計画 ① 改修等の優先順位付けと実施計画	p.72-73
様式6-2	② 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	p.74-75
様式7	(7) 長寿命化計画の継続的運用方針 ① 情報基盤の整備と活用 ② 推進体制等の整備 ③ フォローアップ	p.76-78

第2章 計画策定のための建物情報の整理

計画策定のための建物情報の整理は、本解説書付属のエクセルソフトを用いて以下の4つのステップで行うことができる。なお、本章で解説する建物の実態把握の手法は一例であり、地方公共団体において必要に応じて活用していただきたい。

ステップ1 学校施設の全体把握

調査1:対象建物の整理

- ① 公立学校施設台帳の棟別面積表等（以下「学校施設台帳」という。）を基に対象建物の基本情報を「建物情報一覧表」に記入する。
- ② 学校施設台帳と固定資産台帳で、棟番号と床面積の突合せを行う。（任意作業）
- ③ 築年数や工事範囲を考慮して管理する建物を整理する。（任意作業）
- ④ 出力データ①：築年別整備状況（建築年度別床面積の分布）のグラフが自動で作成される。
- ⑤ コスト算出条件として、改築条件（更新周期、改築単価）と、過去の施設関連経費を記入する。
- ⑥ 出力データ②：今後の維持・更新コスト（従来型）のグラフが自動で作成される。

ステップ2 老朽化状況の把握

調査2:構造躯体の健全性の把握

- ① 耐震診断報告書や現地調査結果を基に、今後の維持・更新コストを試算する際に長寿命化改修に適さない可能性があるため「改築」と区分する建物（以下「要調査」建物という。）を選別する。

調査3:躯体以外の劣化状況の把握

- ① 建築基準法 第12条に基づく定期の報告、検査等（以下「12条点検」という。）に合わせて、建物ごとに「劣化状況調査票」を作成する。
- ② その際、5つの部位を評価基準に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

ステップ3 今後の維持・更新コストの把握

- ① 出力データ③：建物情報一覧表（「劣化状況調査票」の内容は自動で転記される）が自動で作成される。
- ② コスト算出条件として、更新周期、各種単価を記入する。
- ③ 出力データ④：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）のグラフが自動で作成される。

ステップ4 直近の整備計画の策定

- ① 「建物情報一覧表」を参考に個別施設の整備の優先順位を検討し、直近の整備計画を作成する。
- ② 出力データ⑤：直近の整備計画に係るグラフが自動で作成される。

ステップ

1 学校施設の全体把握

建物基本情報を記入するとグラフが自動で作成される (p.14~19)

調査1 対象建物の整理

コスト算出条件 ↓

建物基本情報

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		備考
											西暦	和暦	
001	1301	A小学校	校舎1	1	220301187	小学校	校舎	RC	3	2,562	1989	S44	45
002	1301	A小学校	校舎2	2	220301188	小学校	校舎	RC	3	1,525	1989	S44	46
003	1301	A小学校	校舎3	3	220301189	小学校	校舎	RC	4	1,179	2002	H14	13
004	1301	A小学校	体育館	19-123	220301190	小学校	体育館	RC	4	1,408	1970	S45	45
005	1302	B小学校	校舎1	2-1	220401181	小学校	校舎	RC	5	1,819	1984	S39	51

(毎年度更新)

出力データ① 築年別整備状況

出力データ② 今後の維持・更新コスト(従来型) (50年未満で改築)

ステップ

2 老朽化状況の把握

(p.20~33)

調査2 構造躯体の健全性の把握

RC造の場合、耐震診断時データ等の圧縮強度から評価し「要調査」建物を選別

区分	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	構造躯体の健全性		備考		
						新築安全性	長寿命化判定			
校舎	RC	3	2,562	1989	S44	45	旧済済	H10	24.9	長寿命
校舎	RC	3	1,525	1989	S44	46	旧済済	H10	28.2	長寿命
校舎	RC	4	1,179	2002	H14	13	新	-	-	長寿命
体育館	RC	4	1,408	1970	S45	45	旧済済	H10	25.3	長寿命
校舎	RC	5	1,819	1984	S39	51	旧済済	H7	13.1	要調査

「要調査」建物は「改築」として試算

調査3 躯体以外の劣化状況の把握

- 12条点検と合わせて専門家により3年に1回実施
- 劣化状況を部位別に4段階で評価

建築基準法 12条点検

- 外部
- 屋上・屋根
- 避難施設等

改修履歴

劣化状況調査票

屋根・屋上、外壁の目視調査(4段階評価)

内部仕上げ・設備は経過年数で評価

評価基準 (写真事例)

ステップ

3 今後の維持・更新コストの把握

(p.34~39)

コスト算出条件 ↓

出力データ③ 建物情報一覧表

ステップ1, 2の結果を整理する。

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	備考	新築安全性		長寿命化判定		備考							
												基準	診断	判定	判定								
001	1301	A小学校	校舎1	1	220301187	小学校	校舎	RC	3	2,562	1989	S44	45	旧済済	H10	24.9	長寿命	G	B	A	G	C	52
002	1301	A小学校	校舎2	2	220301188	小学校	校舎	RC	3	1,525	1989	S44	46	旧済済	H10	28.2	長寿命	A	A	A	C	C	52
003	1301	A小学校	校舎3	3	220301189	小学校	校舎	RC	4	1,179	2002	H14	13	新	-	-	-	-	-	-	-	-	52
004	1301	A小学校	体育館	19-123	220301190	小学校	体育館	RC	4	1,408	1970	S45	45	旧済済	H10	25.3	長寿命	S	B	G	A	C	57
005	1302	B小学校	校舎1	2-1	220401181	小学校	校舎	RC	5	1,819	1984	S39	51	旧済済	H7	13.1	要調査	D	B	B	B	B	10
006	1301	A小学校	校舎1	1	220301187	小学校	校舎	RC	3	2,562	1989	S44	45	旧済済	H10	24.9	長寿命	D	B	B	A	C	57
007	1301	A小学校	校舎2	2	220301188	小学校	校舎	RC	3	1,525	1989	S44	46	旧済済	H10	28.2	長寿命	D	B	B	B	B	76
008	1301	A小学校	校舎3	3	220301189	小学校	校舎	RC	4	1,179	2002	H14	13	新	-	-	-	-	-	-	-	-	40
009	1301	A小学校	体育館	19-123	220301190	小学校	体育館	RC	4	1,408	1970	S45	45	旧済済	H10	25.3	長寿命	B	C	C	C	B	52
010	1302	B小学校	校舎1	2-1	220401181	小学校	校舎	RC	5	1,819	1984	S39	51	旧済済	H7	13.1	要調査	D	D	B	A	56	

出力データ④ 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

- 対象建物の整理
- 計画策定段階における長寿命化の可否の判定
- 健全度の算定、改修の優先順位付け

- 複数条件によるシミュレーション (改築・改修・修繕の周期) (単価設定)(任意項目の積上げ)

ステップ

4 直近の整備計画の策定

出力データ⑤ 直近の整備計画

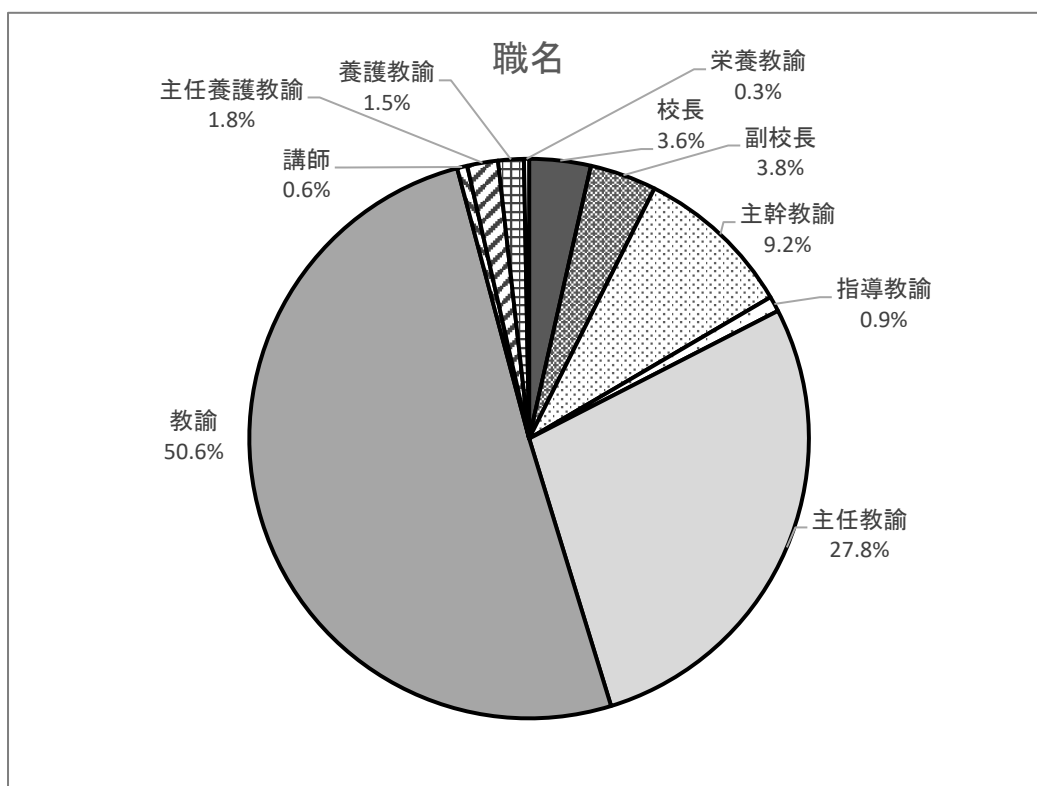
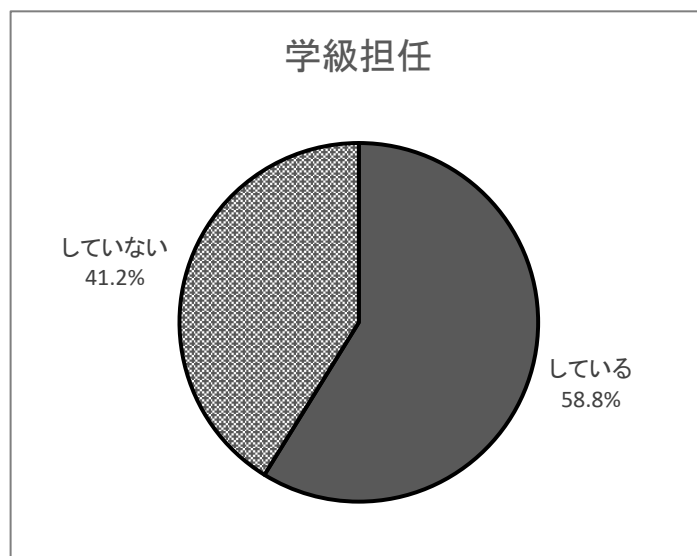
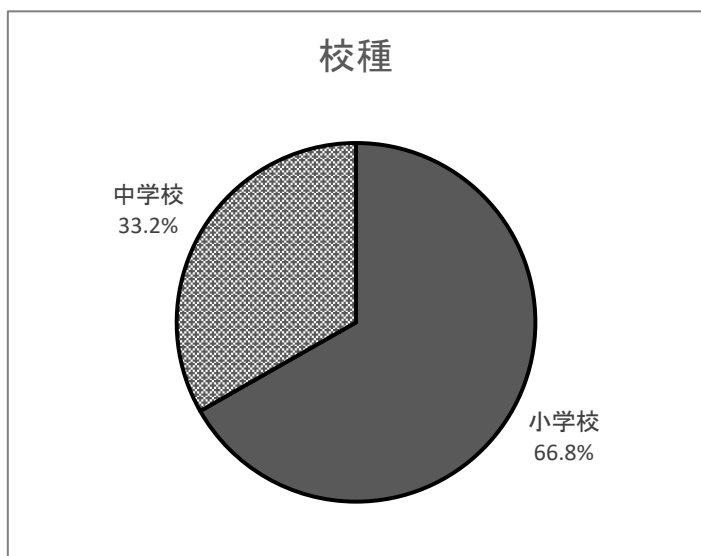
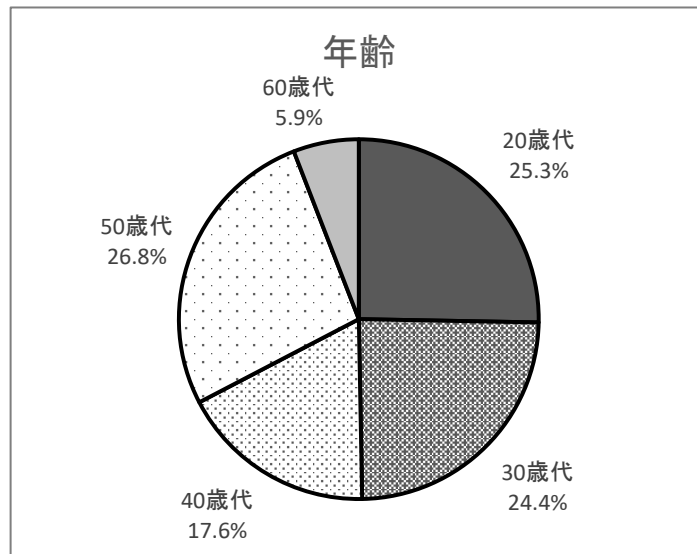
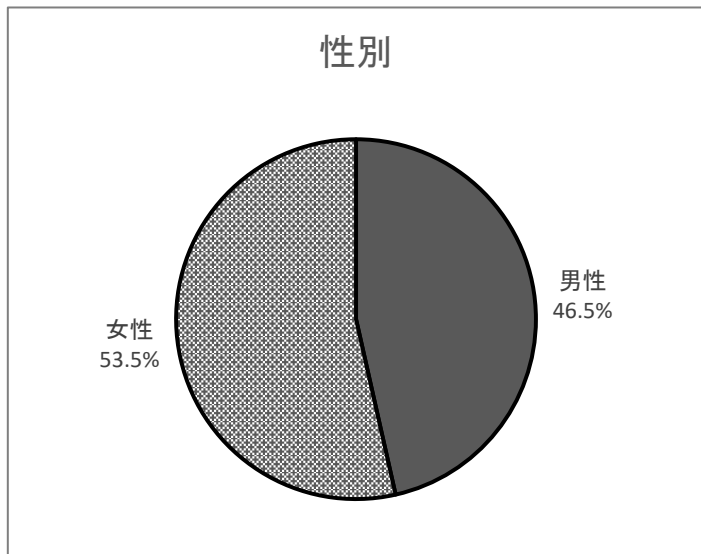
(p.40~41)

小金井市立学校教員勤務実態調査(平成29年9月)

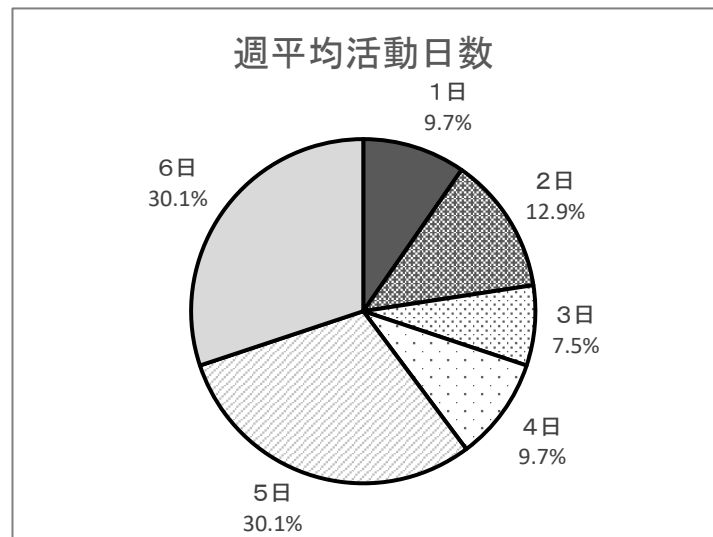
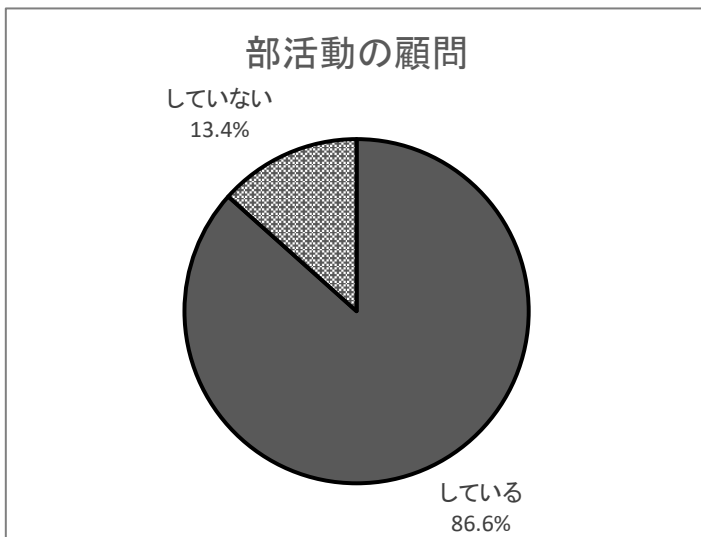
【全体】

回答総数: 340

◆あなた自身について

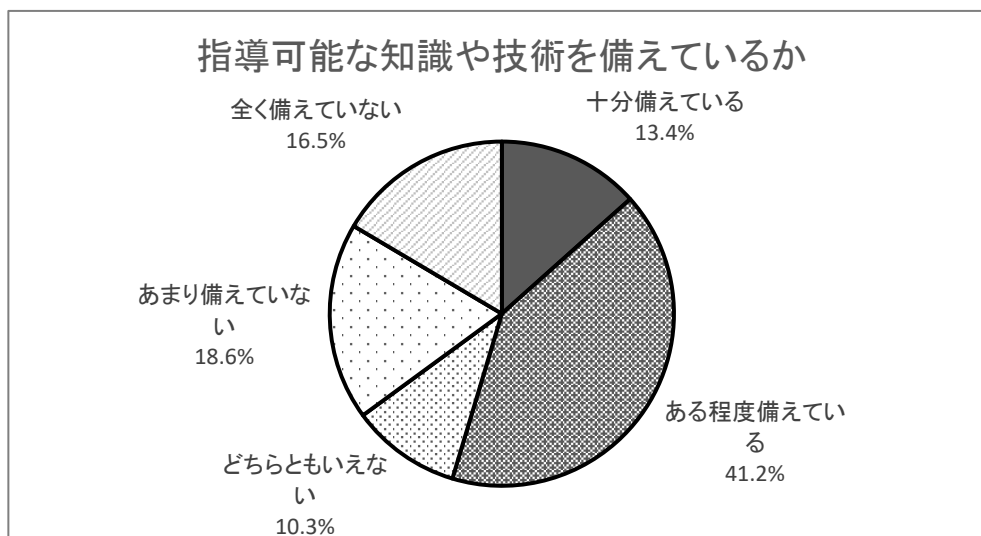
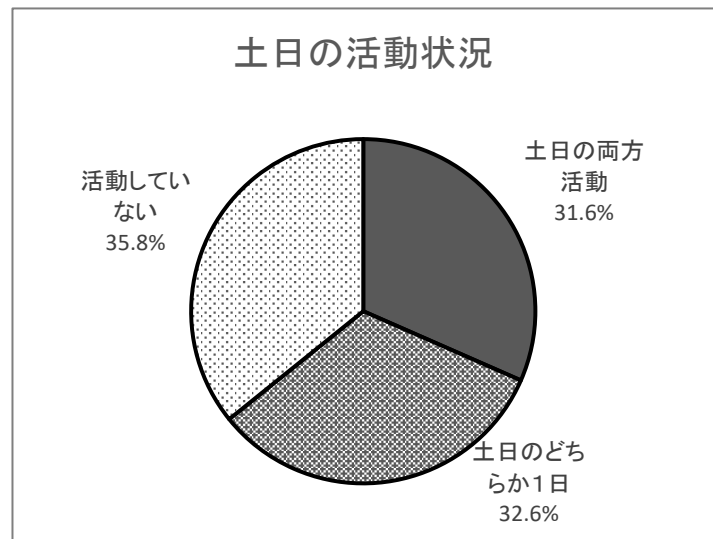
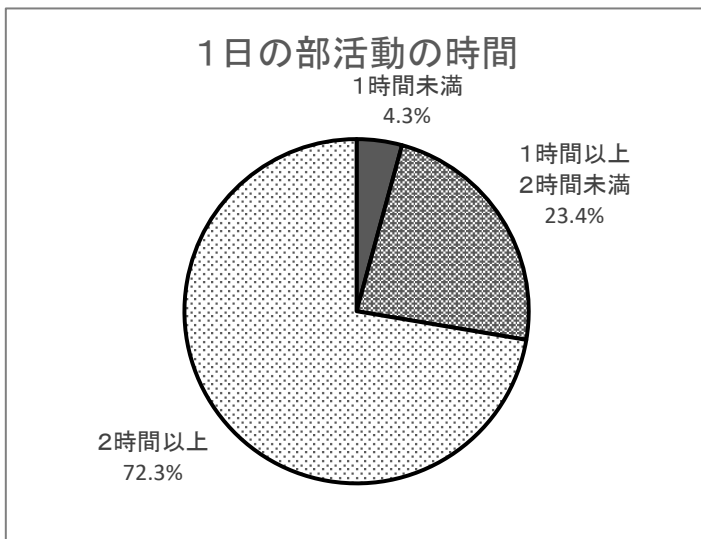


◆部活動について(中学校)

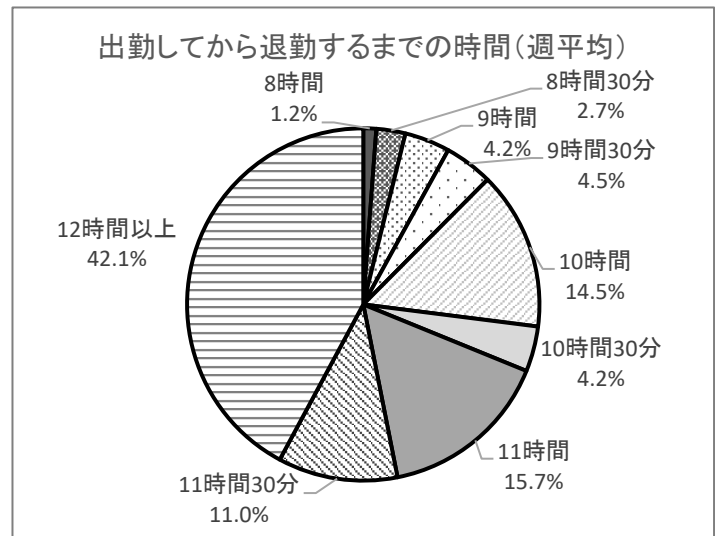
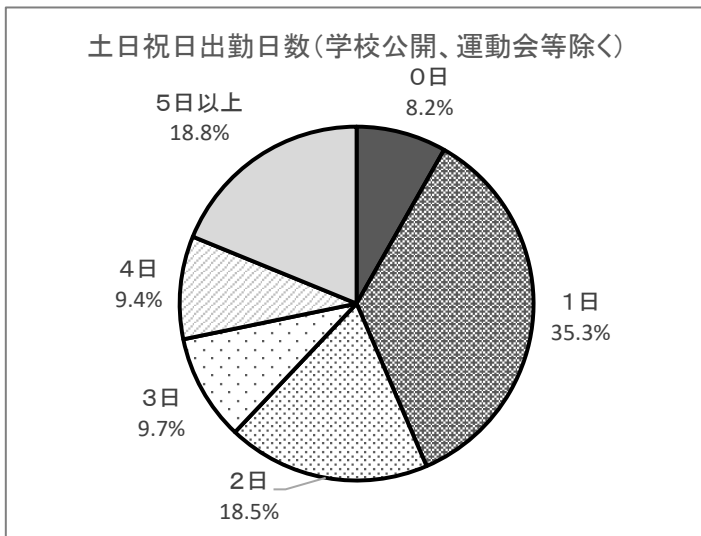
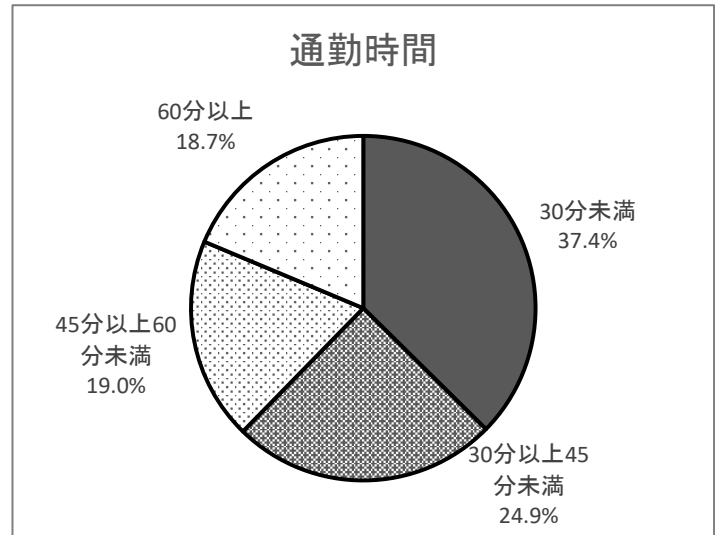
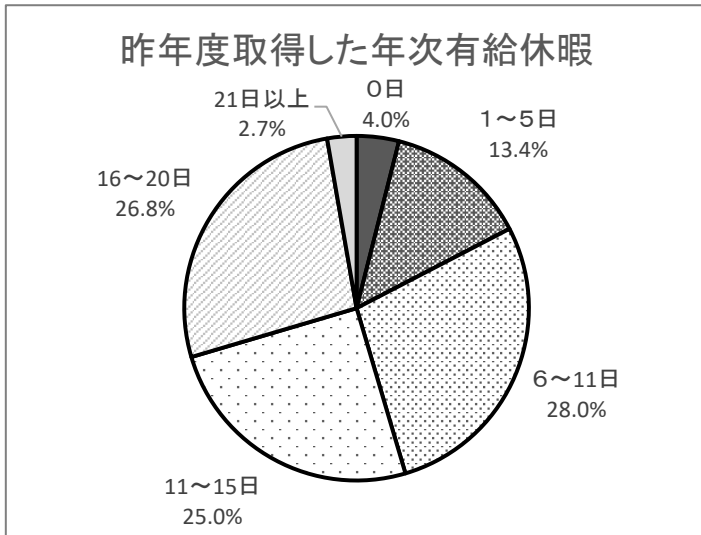


担当部活動

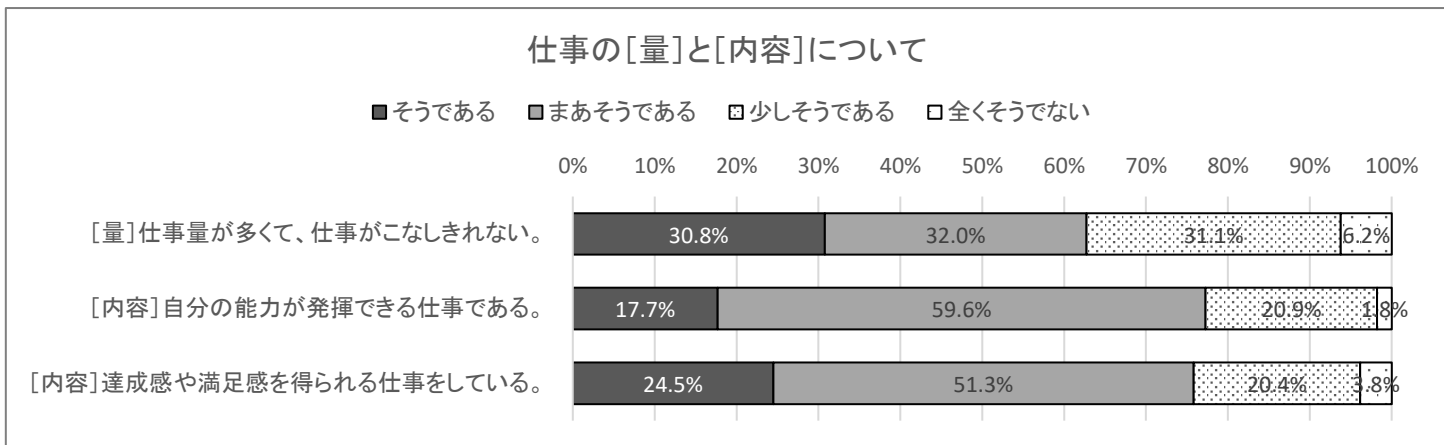
バスケットボール	サッカー	野球	ソフトテニス	バドミントン	陸上競技	バレーボール	卓球	テニス
10	7	7	5	6	4	8	4	5
剣道	水泳	ソフトボール	柔道	レクリエーション	相撲	吹奏楽・ブラスバンド	美術	演劇
2	2	2	0	2	0	4	6	2
英語	家庭	茶道	合唱	調理	イラスト	園芸	和太鼓	工作
3	3	3	1	1	1	2	0	0
手話	囲碁	総合文化	弦楽器	かるた				
1	1	2	1	1				



◆勤務実態について

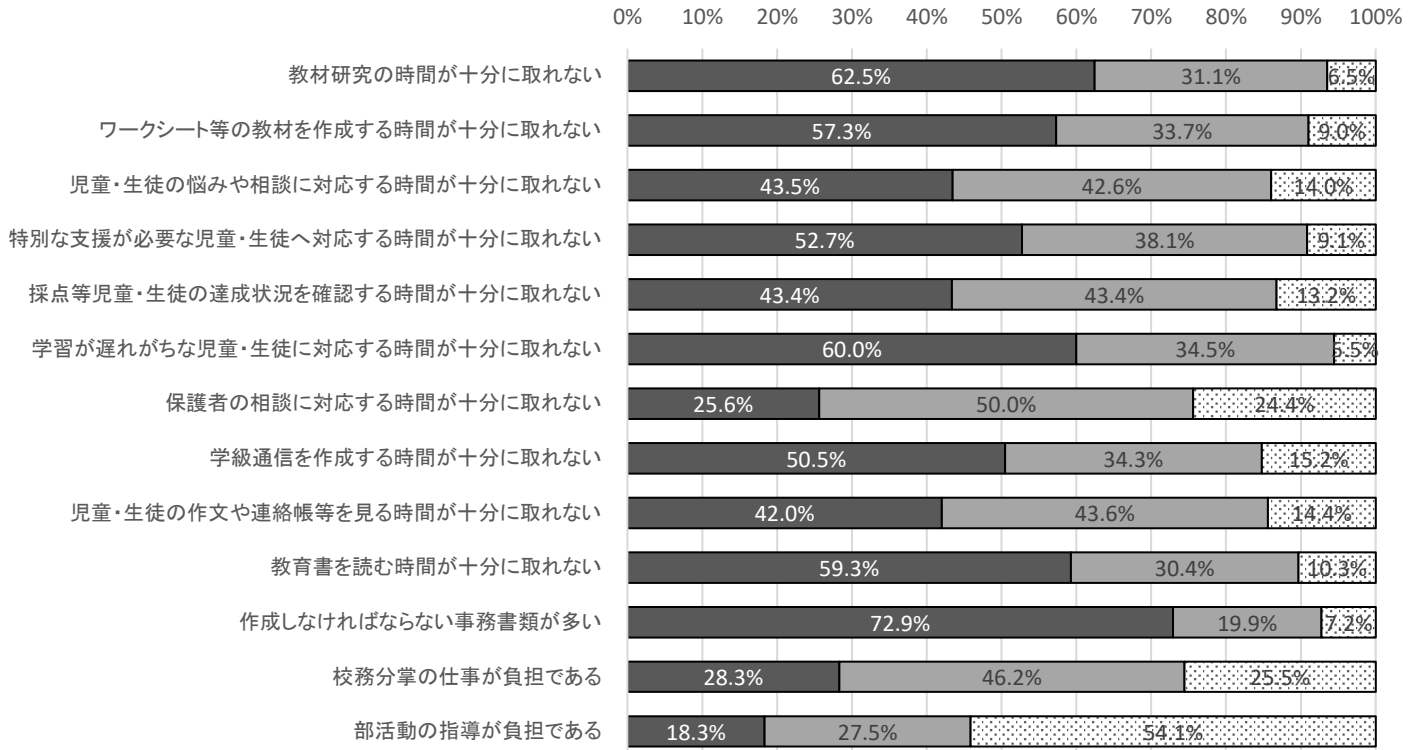


◆仕事に対する意識について



次のような悩みをどれくらい感じているか

■とてもそう思う □まあそう思う ▨そうは思わない



多忙解消や負担の軽減について効果があること

